

アーツサポート関西 2023 年度助成活動の紹介

2023 年度はコロナ禍の長いトンネルから脱し通常を取り戻すための 1 年でした。寄付の募集と助成支援がセットになったクラウドファンディング助成では 13 件に対して 348 万円、プールされた資金から支援する一般助成では、関西を拠点に活動を行う芸術家・団体 10 件に対し 300 万円をそれぞれ助成。また寄付者が設置したファンドごとに助成する個別寄金助成では、新たに「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」が加わり、若いクラシック音楽家を対象にした支援（450 万円）もスタート。個別寄金助成全体では 30 件に対し 920 万円を助成しました。

クラウドファンディング助成

(13 件 348 万円)

公募で採択されたプロジェクトを WEB で公開し、それに賛同した方々から寄付を募り、集まった寄付から助成する新しい取り組み。公益財団法人が行うクラウドファンディングとしては国内でも先駆的なもの。対象分野は、美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能の 4 分野。

第 6 回スーパークラシックアンサンブル ライナー・キュッヒルを迎えて（音楽）

主催者：堀江ファミリーコンサート
場所：吹田メイシアター（吹田市） 実施日：2023 年 7 月 3 日

活動概要：関西の若手音楽家たち自らが立ち上げた弦楽オーケストラ「スーパークラシックアンサンブル」。その第 6 回公演に元ウィーンフィルのコンサートマスター、ライナー・キュッヒル氏が登場。20 代～30 代の気鋭の若手奏者たちとウィーンフィルを 45 年にわたり率いたレジェンドとのまさに「夢の共演」が実現。キュッヒル氏にリードされた若手奏者たちは圧巻の演奏を披露し、満員の聴衆から喝采を浴びた。
主催者からの声：キュッヒル先生と一緒に音楽づくりに取り組めて、まさに夢のような日々でした。



第 3 回大阪演劇見本市（舞台芸術）

主催者：関西演劇振興会議
場所：ナレッジシアター（大阪市） 実施日：2023 年 9 月 15 日

活動概要：関西の劇団や俳優らが力を合わせ、演劇をもっと多くの人々に知ってもらいたいと、「俳優」「劇場」「観客」の 3 つのテーマとともに演劇の魅力や観劇の楽しさに触れられる演劇イベント。コロナ禍の最中の 2021 年から始まった。ステージでは、講談師および浪曲師が語る物語を俳優たちが演ずる芸能と演劇のコラボレーション劇を上演。また会場には劇団のブースも多数出展され、演劇が身近に感じられる場となった。
劇団からの声：話芸の方との交流が深まり、今回取り組んだ作品の再演にもつながりました。



苫野美亜プロデュース Dance Performance LIVE #9（舞台芸術）

主催者：Dance Performance LIVE 制作委員会
場所：神戸ファッション美術館オルビスホール（神戸市） 実施日：2023 年 8 月 10 日

活動概要：振付家苫野美亜プロデュースにより「今」を共有するアーティストたちが集い、独自性の高いパフォーマンスを展開する舞台シリーズ。今回で 9 回目。「相反するものの中心点」をテーマに、Under30 代、30-40 代、70 代の 3 世代のダンサーが音楽・美術・映像などジャンルが交錯する地点に立ち、ダンスの可能性を追求した。ウィーン国立バレエ団のプリンシパルも参加し濃密な舞台が繰り上げられた。
主催者からの声：反響の大きさに驚いております。関わったすべての方々に御礼申し上げます。



Photo: 植村耕司

たつのアート 2023（美術）

主催者：たつのアート実行委員会
場所：たつの市内の各所（龍野市） 実施日：2023 年 11 月 10 日～19 日

活動概要：兵庫県たつの市の古い街並みを舞台に 2011 年から続く芸術祭。今回で 13 回目を迎えた。現代美術をはじめ、舞台芸術、音楽、映像などの多様なジャンルの国際的にもすぐれた作品が龍野の美しい町並みや日本の原風景的な風景に映える。今年は作曲家・数田翔一氏の作曲ワークショップ、劇団 OTO による戯曲家・河合穂高作『漂う海馬』の上演、ポーランドのサウンドアーティストやウクライナ出身の作家らの展示などが行われた。
主催者からの声：多くの方々のご協力で今年も開催することができました。



トーチカプロジェクト（美術）

主催者：守屋友樹トーチカプロジェクト実行委員会
場所：北海道各地（北海道） 実施期間：2023 年 11 月～2024 年 3 月

活動概要：敵の襲来を監視し攻撃を加える防衛陣地トーチカ。第二次世界大戦末期に建てられ今も北海道東沿岸部に点在する。そのトーチカから見える景色を、写真家の守屋友樹がピンホールカメラの原理によって写真として表現するプロジェクト。守屋は北海道に残るトーチカを訪ね歩き、地元の識者や博物館などに入念なリサーチを行いながら、トーチカの風景の写真化に成功した。その成果発表を 2024 年 4 月に京都で行った。
主催者からの声：トーチカの中で「待つこと」の時間を感じました。写真でそれを表現することを試みました。



米寿記念演奏会 館野泉 バースデー・コンサート（音楽）

実施者：ArTRANDOM

場所：京都府立府民ホールアルティ（京都市） 実施日：2023年11月12日

活動概要：世界的に活躍する「左手のピアニスト」館野泉。脳出血で右半身不随になりながら不屈の精神でよみがえり、昨年数え年で米寿 88 歳を迎えた。それを祝うバースデー・コンサートが京都で開催された。3 人の作曲家が館野のために書いた作品を館野自身が演奏。平野一郎によるピアノ五重奏曲「鬼の学校」は、鬼の学校の 1 日を描写したユニークな作品。この作品のために集まったメンバーと息のあった演奏を披露した。

実施者からの声：私たちが新しい取り組みに挑戦し続ける館野さんの姿に大いに感銘を受けました。



Photo: 武藤章

World Peace Concert 2023 in Kyoto バルカン室内管弦楽団（音楽）

実施者：京都フィルハーモニー室内合奏団

場所：京都市呉竹文化センター（京都市） 実施日：2023年11月24日

活動概要：民族紛争が絶えないバルカン半島の平和を願い、日本人指揮者、柳澤寿男によって設立されたバルカン室内管弦楽団。セルビア放送交響楽団、ベオグラード国立歌劇場、サラエボフィルハーモニー、ブルガリア放送交響楽団などバルカン半島各地の首席奏者らによって編成された同楽団が、2023 年秋に来日。京都で京都フィルハーモニー室内合奏団と合同演奏会「World Peace Concert 2023」を開催した。

演奏者の声：紛争で多くの人々が死に悲しい想いをしました。楽団として京都を訪れ演奏ができて嬉しいです。



Photo: 正田稔

劇団トリコ・A 公演「そして羽音、ひとつ」（舞台芸術）

主催者：合同会社 stamp

場所：扇町ミュージアムキューブ（大阪市） 実施日：2023年11月18日～19日

活動概要：京都を拠点に活動する劇団トリコ・A。社会の矛盾やマイノリティの存在など社会の見えづらい部分に光をあててきた。昨年、大阪に新しく生まれた劇場施設扇町ミュージアムキューブのオープニングシリーズとして劇作家、山岡徳貴子氏の新作「そして羽音、ひとつ」を上演。一人の老女が、認知症を患いながらも周りの人間との関わりの中で自分らしく生きることを選択する姿を描いた。

主催者からの声：視覚や聴覚に障害をお持ちの方々にも鑑賞いただけるよう、様々な取り組みを実施しました。



Photo: 羽鳥直志

ダンスダンスレボリューションズ（舞台芸術）

主催者：スペースノットブランク

場所：京都芸術センター（京都市） 実施日：2023年9月20日～24日

活動概要：劇作家・松原俊太郎と二人組の舞台作家・小野彩加 中澤陽 スペースノットブランクによる共同プロジェクト。京都芸術センターでの 1 か月の滞在制作を経て、劇作家と演出家、出演者がクリエイションの開始から終演までを共同作業による創造行為としてとらえ、単なる舞台作品の制作と上演にとどまらない新しい創造の可能性を目指した。身体と言葉、空間、時間が通常の文脈を離れ、新たな意味を獲得する状況が生まれた。

主催者からの声：想定していた以上の成果があり、さらに次につながる指針を発見することができました。



Photo: 守屋友樹

KANPAIKYOU 公演「姥ざかり 2024」（舞台芸術）

主催者：関西俳優協議会

場所：吹田メイシアター（吹田市） 実施日：2024年2月16日～18日

活動概要：関西の俳優の親睦や経済的・社会的地位の向上を図るために設立された関西俳優協議会。同協議会が主催する KANPAIKYOU 公演として田辺聖子原作「姥ざかり」を上演した。一人暮らしを楽しむ 88 歳の一人の老女。華道や油絵、英会話、ヨガ、旅行など、自由にして活発な日々を謳歌する彼女とその周辺の人々の人間模様から、老いの問題、生きることの意味を問う作品となった。

主催者からの声：今年も KANPAIKYOU 公演を無事開催できました。多くの皆様に感謝申し上げます。



劇団しし座第 81 回公演「断定はウソをつく」（舞台芸術）

主催者：劇団しし座

場所：ABC ホール（大阪市） 実施日：2023年11月3日～5日

活動概要：1970 年創設の劇団しし座が取り組む初の推理劇。大富豪の別荘で起きた殺人事件。現場に残されたのは壊れたロボット。介護ロボット達のテストの最中に、事件は起きた。人間そっくりなロボットと人間。そのウソを見抜きながら探偵が事件を解決していくスリリングな内容。座付作家によるオリジナル作品をベテランの演出家が演出し、若手の俳優陣が演技を行った。

主催者からの声：エンディングの謎は・・・？皆様に楽しんでもらえたなら、これ程の喜びはありません。



シアターマテリアル（舞台芸術）

主催者：シアターマテリアルアーカイブ部

場所：THEATRE E9 KYOTO（京都市） 実施日：2023年12月～2024年2月

活動概要：演出家の福井裕孝と相模友士郎、写真家の中川桃子らが取り組んだプロジェクト。演劇が行われる劇場という場所をモノという単位から捉え直すという試み。平台、脚立、リノリウム、スピーカー、マイク、椅子、冷蔵庫、ソファ、ハンガー、体温計、洗濯機、蚊取り線香など、京都にある劇場 THEATRE E9 KYOTO (E9) を形づくるあらゆるモノを舞台上に運んで撮影。それをアーカイブとしてカタログにまとめて出版した。

主催者からの声：多くの皆さまから温かいご支援とお言葉をいただき、それが大きな励みとなりました！



Photo: 相模友士

一心寺門前浪曲寄席（伝統芸能）

主催者：公益社団法人浪曲親友協会

場所：一心寺南会所（大阪市） 実施期間：2023年11月～2024年3月

活動概要：三味線の音色に乗せて人物の心情や物語を独特の節で描く日本の伝統話芸「浪曲」。浪曲師たちの団体・公益社団法人浪曲親友協会は大阪市天王寺区にある一心寺南会所を会場に、西日本の定席の浪曲寄席「一心寺門前浪曲寄席」を1994年より毎月欠かさず開催しており、昨年30年目を迎えた。その活動は寄付や助成金に頼ることが多く、今回その資金を獲得するためにクラウドファンディングに挑戦した。

主催者からの声：浪曲の魅力をより多くの方々に伝えていくために、これからも頑張っています。



個別寄金助成

(30件 920万円)

八千代電設工業伝統芸能支援寄金助成（2件 50万円）

能狂言における青少年への教育普及を目的とした事業を支援

能 meets 殺陣「夜討曽我 事前講座」（伝統芸能）

助成先：大の会

助成額：25万円 場所：大槻能楽堂（大阪市） 実施日：2023年11月3日

活動概要：能 meets という能楽普及プログラムに精力的に取り組む能楽師の林本大が、大槻能楽堂にて能「夜討曽我」を上演するのにあわせて、高校生など学生を無料とした事前講座を開催。能の基本的な決まりごとや、夜討曽我のあらすじなどを実際に大槻能楽堂の能舞台で解説。能の演出法や、それが何を表現しているか、能特有の「引き算」の表現などをわかりやすく説明した。

ご担当者からの声：「知ってから観る」という能の楽しみをお伝えできたことが大きな成果だと感じています。



「夏休みキッズ狂言教室・夏休みキッズ狂言会 2023」（伝統芸能）

助成先：志芸の会

助成額：25万円 場所：神戸市立灘区民ホール（神戸市）[お稽古] 2023年8月4日～25日 [公演] 8月27日

活動概要：志芸の会のプロの狂言師が小学生・中学生を対象に「夏休みキッズ狂言教室」を実施。5回のお稽古からなるこの狂言教室は毎年行われている。子どもたちは中々学校では教わらない礼儀作法をはじめ、狂言独特のセリフ廻しや型を学び、その成果を「夏休みキッズ狂言会」として神戸市立灘区民ホールに作られた能舞台の上で披露。学校の授業や教科書では学ぶことが難しい狂言を楽しく体験することができた。

ご担当者からの声：みんな頑張りました。達成感も含めそれぞれ自身の成長を促すことになったと思います。



寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金助成（1件 50万円）

上方落語の若手噺家の育成を目的として毎年天満天神繁盛亭で開催される上方落語若手噺家グランプリを支援

「第9回上方落語若手噺家グランプリ 2023」（伝統芸能）

助成先：公益社団法人上方落語協会

助成額：50万円 場所：天満天神繁昌亭(大阪市) 予選2023年4月5日、12日、19日、26日 決勝2023年6月20日

活動概要：上方落語の若手噺家の育成を目的に寄せられた500万円の寄付から、天満天神繁盛亭で開催される「上方落語若手噺家グランプリ」に対して毎年50万円を支援する取り組み。2015年から始まり2023年度で9回目となった。関西の若手噺家の登竜門として定着している。満員御礼となった決勝戦では、予選を勝ち抜いた9名が出場。審査の結果、グランプリに桂そうばさん、準グランプリに桂染古さんが選ばれた。

桂そうばさんの声：関西は賞が少なく東京の同世代に受賞歴で負けていましたが、これで挽回できました。



コクヨ文楽支援寄金助成（1件 250万円）

大阪が育んだ日本を代表する伝統芸能・文楽の未来への継承を目的に、将来の鑑賞者育成を視野に入れた取り組みを支援

「そうだ文楽へ行こう！！ワンコインで文楽」（伝統芸能）

助成先：公益財団法人文楽協会

場所：国立文楽劇場（大阪市） 実施期間：2023年11月～2024年1月

活動概要：若い世代を対象にワンコイン500円で文楽劇場の本公演が鑑賞できる「ワンコイン文楽」。2014年から始まったこの取り組みの8年目にあたる。2022-23年度はコクヨ株式会社からの寄付で支援を行った。観劇前に文楽技芸員によるミニレクチャーが行われるなど身近に文楽を楽しむことができる。すでにのべ4,000人以上がこの取り組みを通して文楽を鑑賞し、文楽の裾野拡大に多大に貢献している。

主催者からの声：申し込みが殺到し、結果、目標を上回る600人近い方々に参加いただきました。



未来アート寄金助成（4 件 90 万円）

総額 90 万円を、現代美術およびコンテンポラリーダンスの活動を行う個人に対して支援

千代 その子（ちしろ そのこ）（コンテンポラリーダンス）

助成額：20 万円

場所：京都芸術センター（京都市） 実施期間：2023 年 6月5日～2024 年 3月11日

活動概要：3 歳から 24 カ月までの乳幼児親子と一緒に舞台芸術を楽しむためのワークショップ「Bambino! 0 才からのパフォーミングアート」を実施。身体を動かす「おやまであそぼう」、見る力・聴く力・感じる力を引き出す「わらべうたワークショップ」などのプログラムの企画を始め、場づくり、小道具、誘導、広報に至るまで入念に検討を加えながら、舞台芸術と赤ちゃんおよびその親とのかわり方について可能性を探った。
千代さんからの声：さっそく反響があり、劇場や保育園などからワークショップの依頼をいただきました。



中島 那奈子（なかじま ななこ）（コンテンポラリーダンス）

助成額：25 万円

場所：京都芸術劇場春秋座、ロームシアター京都など（京都市） 実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

活動概要：日本におけるドラマトゥルクの第一人者。日本で初の国際的な規模による「ドラマトゥルク・ミーティング」を 2024 年 3 月に京都で開催。併せて実践的なワークショップなども数多く行った。日本では馴染みの薄いドラマトゥルクへの理解の浸透、国内外関係者の出会いの場の創出、その経験の共有を図ることにより、日本のドラマトゥルクの今後の展開にむけて大きな素地を作った。
中島さんからの声：今回若い方々が多く参加し、ドラマトゥルクへの必要性の高まりをますます感じました。



Photo: 大曾根麗奈

阿児 つばさ（あこ つばさ）（現代美術）

助成額：20 万円

場所：Finch Art、自身のアトリエなど（京都市） 実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

活動概要：作者と鑑賞者の関係性を際立たせるインスタレーションのほか、自らが「シナリオ」と呼ぶ独自の表現手法を用いた制作で注目される阿児つばさ。京都で 2023 年 12 月に展覧会「day scenario」を開催。会場に来た鑑賞者は作家と「等」について会話を交わし、その出来事が「シナリオ」となって作品化され、共有される。阿児はそうした活動の記録をまとめ、その一部を WEB 上で発信する取り組みを行った。
阿児さんからの声：記録や広報のための媒体の重要性を感じており、その部分で助成金が役立ちました。

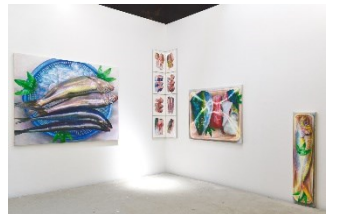


堀 奏太郎（ほり そうたろう）（現代美術）

助成額：25 万円

場所：スタジオニューホープ（京都市） 実施日：2023 年 4 月 28～5 月 7 日／11 月 3 日～12 日

活動概要：アメリカンヒーローの男性性やスーパーで売られる鮮魚のイメージなどの脅迫観念と憧憬がない混ざった現代イメージの一面に強く惹きつけられ絵を描く画家の堀奏太郎。2023 年京都に自らのアトリエ兼展示スペース「スタジオニューホープ」を自前で開設し、4 月と 11 月の 2 回、自主企画による展覧会を開催して注目された。自ら場を創出し、社会との接点を増やす試みは時代の反映でもあり、同世代の共感を呼んだ。
堀さんからの声：実験的な作品を発表する場として立ち上げましたが、その目標は達成できたと思います。



上町台地現代アート創造支援寄金助成（1 件 30 万円）

大阪の上町台地にまつわる歴史、宗教、文化などのさまざまな様相を現代アートを通して浮かび上がらせる活動を支援

情景の扉 ～上町台地の波打ち際、聖天さんはバラバラに～（美術）

助成先：AT PAPER

助成額：30 万円

場所：天下茶屋周辺（大阪市） 実施日：2024 年 1 月 21 日（日）

活動概要：アーティストの國政サトシ氏が中心となり、天下茶屋の「聖天さん」として親しまれている場所が宿す記憶や地形が喚起するものに触れるためのアート・ウォークツアー。ツアーの先導役をこの地で育った池田昇太郎氏がとつめ、画家で俳人の小佐誠一郎氏の俳句を織り交ぜながら、池田氏の言葉によって風景に詩情を与え、場所の体験そのものが芸術となることを再発見させるアート・パフォーマンスとなった。
國政さんからの声：作品を設置するのではなく、各自がイメージを持ち帰ってもらうことを考えました。



Photo: 松見拓也

トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金助成 プログラム1（20 件 300 万円）

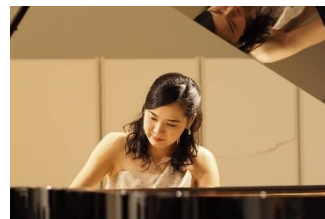
社会の中で音楽を実践することの意味について考える機会となるような、アウトリーチの要素を含むコンサートの開催費用を支援。

森本美帆ピアノリサイタル

助成先：森本美帆 助成額：13 万円
場所：今福音楽堂（大阪市） 実施日：2023 年 11 月 23 日

活動概要：京都市立芸術大学大学院を経てハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽院で学んだピアニスト森本美帆のソロリサイタル。地元の人々や若い世代に聞いてもらえるよう価格等を工夫し、地域に根差した活動を行う今福音楽堂で開催。リストのハンガリー狂詩曲やピアノソナタなどを演奏した。

森本さんからの声：演奏を通してハンガリーやリストへの理解を深めていただけたら嬉しいです。



木管五重奏による幼稚園等への訪問演奏会

助成先：梅本貴子 助成額：20 万円
場所：門真市立上野口保育園、門真市立大和田幼稚園（門真市） 実施日：2023 年 11 月 30 日

活動概要：関西フィルハーモニー管弦楽団の首席クラリネット奏者・梅本貴子による、幼稚園や保育園を訪問し未就学児童に木管五重奏の演奏を届ける取り組み。童謡やアニメなどの曲の演奏のほか、体を使って楽しむ手遊びや、クリスマスの趣向を取り入れるなど、子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えることができた。

梅本さんからの声：関西フィルが拠点を置く門真の子どもたちに直接音楽を届けることができました。



街のクラシック

助成先：K'Classic 助成額：14 万円
場所：枚方市南部学習市民センター（枚方市） 実施日：2023 年 11 月 26 日

活動概要：京都市交響楽団のヴィオラ奏者の金本洋子が主宰する K'Classic が、子どもたちを対象に、単に耳で聴くだけではない体全体で音楽を感じる演奏会を開催。演奏を聴き、楽器を体験し、演奏中の舞台上に上がり、指揮も体験する。くるみ割り人形の読み聞かせなどもあり、音楽を多面的に伝える試みとなった。

金本さんからの声：聴くだけでなく演奏会なので、皆さんリラックスしていただけたように思います。



病院ロビーコンサート、0 歳からのファミリーコンサート vol.2

助成先：Trio いろは 助成額：14 万円
場所：ほうせんか病院（茨木市）、三木楽器開成館（大阪市） 実施日：2023 年 10 月 19 日、2024 年 3 月 16 日

活動概要：今井順子（ピアノ）、山本留梨子（ヴァイオリン）、南美里（ソプラノ）からなる Trio いろは。茨木市の病院にて入院患者およびその家族向けのコンサートを行ったほか、未就学児にも飽きさせない趣向を凝らした質の高い音楽を楽しく届けるファミリーコンサートを行った。いずれもほぼ満席の盛況となった。

主催者からの声：ファミリーコンサートでは助成でチケットの委託販売が可能になり、完売となりました。



貝塚駅前コンサート

助成先：待谷翠 助成額：14 万円
場所：portfolio（貝塚市） 実施日：2023 年 11 月 23 日

活動概要：ヴィオラ奏者の待谷翠が中心となり貝塚市駅前にあるカフェ＆コワーキングスペースを使って行われた無料のコミュニティコンサート。フルート、ヴィオラ、ピアノのトリオでクラシックの名曲から空間にあわせたジャズやタンゴなどをトークを交えて演奏。子どもからお年寄りまで 100 人以上が集まった。

待谷さんからの声：クラシックに馴染みのない地域でもあり、やりがいを感じます。今後も続けていきます。



幼稚園訪問コンサート

助成先：白水大介 助成額：20 万円
場所：元浜なないろ保育園、武庫東からたち幼稚園（尼崎市） 実施日：2023 年 11 月 14 日、12 月 4 日

活動概要：大阪交響楽団の首席トランペット奏者・白水大介が中心となりクラリネット・トランペット・ピアノ三重奏による室内楽コンサートを尼崎市内の幼稚園で開催。企画立案から幼稚園へのアプローチまでをすべて演奏者たちが行い、子どもたちがプロの演奏家の本物の音楽に触れられる機会を創出した。

白水さんからの声：助成金をいただき温めていた企画を実現することができました。



きいてみよう！やってみよう！ほかほかあったかコンサート

助成先：一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 助成額：14 万円
場所：アマービレホール（茨木市） 実施日：2023 年 12 月 28 日

活動概要：茨木市に拠点を置き積極的にコミュニティに向けた演奏活動を行うアマービレフィルハーモニー管弦楽団。事務所に隣接したスペースにて、ヴァイオリン、チューバ、フルート、打楽器、声楽による子どもから楽しめるコンサートを開催。指揮の体験や、楽器に触ったりと様々な趣向が多く盛り込まれた。

主催者からの声：今後もこうした活動を通して地域の文化の向上に貢献していきたいと思います。



フルートの魅力がたっぷり 名曲コンサート

助成先：アダマスフルートカルテット 助成額：14 万円
場所：今福音楽堂（大阪市） 実施日：2024 年 1 月 27 日

活動概要：相愛大学でフルートを学んだ黒木綾乃、杉澤光咲、三木詩織、伴葉生が 2021 年に結成。コンサートは午前 11 時からの子どもを対象にした第 1 部と、午後 5 時からの大人も意識した第 2 部にわけて実施。4 人がさまざまな種類のフルートを使い分けて弾きこなし、フルートの魅力を存分に堪能させる演奏となった。
主催者からの声：助成金の後押しがあって、このコンサートを企画することができました。



猶井悠樹&今井彩香デュオリサイタル vol.4

助成先：今井彩香 助成額：13 万円
場所：三木楽器開成館サロン（大阪市） 実施日：2024 年 1 月 26 日

活動概要：京都市立芸大を経てピアニストとして活躍する今井彩香と NHK 交響楽団の第 1 ヴァイオリン奏者の猶井悠樹によるデュオリサイタル。デュオリサイタルとしては 4 回目となるもの。音楽史的に大きな発展を遂げたロマン派の音楽に焦点をあて、シューマン、ブラームス、ショパンなどを息のあった演奏で披露した。
今井さんからの声：とても多くのお客様にお越しいただき、感謝しております。



三田ゆかりの芸術家によるオータムコンサート Vol.2

助成先：三田アーティストプロジェクト実行委員会 助成額：14 万円
場所：三田市総合文化センター郷の音ホール（三田市） 実施日：2023 年 10 月 7 日

活動概要：兵庫県三田市にゆかりのある若い音楽家たちが企画し、地元三田市のホールで開催する室内楽とバレエ、声楽で構成されたコンサート。2022 年に引き続き 2 回目の開催。バレエは地元のバレエ教室で学ぶ子どもたちが出演し、身近に芸術文化に触れられる場となった。地元市民の幅広い層が舞台を楽しんだ。
主催者からの声：2 回目の開催となり、クラシックやバレエをより身近に感じていただけたら嬉しいです。



おでかけクラシック Vol.4

助成先：上敷領藍子 助成額：20 万円
場所：枚方市総合芸術文化センター（枚方市） 実施日：2024 年 1 月 5 日

活動概要：東京藝術大学およびオランダで研鑽を積んだヴァイオリニスト上敷領藍子による未就学児から参加できるピクニック感覚のコンサートシリーズ。家族みんなで床に座り良質なクラシック音楽を楽しめると地元で評判を呼んでいる。今回はハーブ奏者の山地梨保氏を招きヴァイオリンとハーブの二重奏を演奏した。
上敷領さんからの声：毎回満席です。赤ちゃんと一緒に音楽が聴けて嬉しいと言って下さる方もいます。



オーケストラと遊ぼう 秋の音楽会

助成先：森美鈴 助成額：14 万円
場所：雲雀丘学園幼稚園（宝塚市） 実施日：2023 年 11 月 27 日

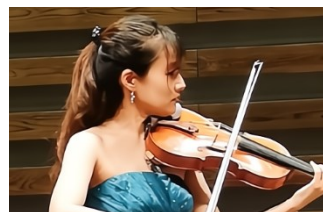
活動概要：トランペット奏者の森美鈴の呼びかけにより、ヴァイオリン、フルート、チューバ、声楽家が集まって幼稚園の子どもたちを対象にクラシック音楽を聴いてもらうコンサートを企画。子どもたちが親しんでいる曲を中心に演奏したほか、体を動かしたり、楽器に触ったりと体全体で音楽を楽しむ演奏会となった。
森さんからの声：こうした機会をどんどん増やし、子どもたちに音楽を好きになってもらえたらと思います。



野口まつのヴァイオリンリサイタル

助成先：野口まつの 助成額：13 万円
場所：あいおい日生同和損保ザ・フェニックスホール（大阪市） 実施日：2023 年 11 月 3 日

活動概要：関西フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリン奏者として活躍する野口まつのによるソロリサイタル。300 席の会場はほぼ満員となった。タルティーニのバロック時代のものから、モーツァルト、ブラームス、イザイのロマン派近現代と幅広い意欲的なプログラムを演奏し、意気込みの高さを感じさせた。
野口さんからの声：助成金のおかげで東京の恩師のレッスンに通うなど、入念な準備ができました。



クリスマス☆ファミリーコンサート ～音楽の贈りもの～

助成先：アウトリーチ・プロジェクト あっぷぷっ! 助成額：20 万円
場所：奈良公園バスターミナル レクチャーホール（奈良市） 実施日：2023 年 12 月 23 日

活動概要：神戸女学院で音楽のアウトリーチを学んだメンバーによる企画。年齢に合わせて 2 部制とし、世界のクリスマスという国際的多様性のテーマのもと、演奏者が楽曲にあわせて客席で演奏したり、リトミックの要素を盛り込むなど、随所にアウトリーチ活動を研究して生まれた成果が反映された試みとなった。
主催者からの声：音楽のアウトリーチのプロ集団として、今後も活動を続けていきたいと思っています。



森からの招待状 ～色とりどりの音楽のひみつ～

助成先：神戸大アートマネジメント研究会 助成額：10 万円
場所：シーサイドホテル舞子ビラ神戸 あじさいホール（神戸市） 実施日：2023 年 11 月 26 日

活動概要：神戸大でアートマネジメントを学ぶ学生たちが企画・運営・開催する「子どもためのコンサート」。16 回目となる今回は木管五重奏の演奏で構成。森の音楽会という趣向の下、楽器の音色の違いやハーモニーについて、楽器の説明やクイズなどを使い、子どもたちが音楽に興味をもち、感じ、考える工夫を凝らした。
主催者からの声：演奏者の方々にも企画に深く関わっていただき、一緒に作り上げることが出来ました。



ヨハン・シュトラウス四重奏団 初来日公演

助成先：堀江恵太 助成額：13 万円
場所：吹田メイシアター中ホールほか（吹田市） 実施日：2023 年 12 月 16 日、18 日

活動概要：ヨハン・シュトラウスのワルツなどウィーン特有の音楽を得意とする若きウィーンの弦楽四重奏団の初来日。ウィーンで共に学んだヴァイオリニストの堀江恵太が企画し、無料で楽しめるコミュニティコンサートを開催するなど、若い日本の演奏者たちもその音楽の素晴らしさに存分に触れる機会を創出した。
堀江さんからの声：東京も含めいずれの会場でも非常に高い評価をいただけたと思います。



堀江牧生 x 入江一雄 チェロとピアノのデュオコンサート

助成先：堀江牧生 助成額：14 万円
場所：桜の庄兵衛（豊中市） 実施日：2024 年 3 月 24 日

活動概要：チェロ奏者の堀江牧生とピアニストの入江一雄のデュオコンサート。二人とも名門モスクワ音楽院を優秀な成績で卒業し、入江は堀江のデビュー CD の録音にも関わった。プログラムはブラームスのチェロソナタ第 2 番とストラヴィンスキーのイタリア組曲など。圧倒的な水準の演奏に満席の会場は大いに沸き立った。
堀江さんからの声：地元の吹田でまた旧友の入江さんと素晴らしい演奏会ができて良かったです。



日本の秋 IN 古民家 6

助成先：Tミュージックファクトリー 助成額：13 万円
場所：楯三郎太夫家住宅（福井県若狭町） 実施日：2023 年 9 月 30 日

活動概要：福井県若狭町にある築 140 年の古民家を使って行われているコンサートシリーズ。演奏者と観客の距離が近く、人々が音楽を通して触れ合うコミュニティ活性化の場となっている。その 6 回目は、ギター奏者の建孝三とソプラノの高木一美のデュオコンサート。古民家の風情とギターの音色が素晴らしく響きあった。
主催者からの声：助成のおかげで成功の運びとなりましたこと、心より感謝申し上げます。



みて、きいて、ふれて、親子で楽しむ音楽会

助成先：増田紗英 助成額：13 万円
場所：今福音楽堂（大阪市） 実施日：2024 年 2 月 3 日

活動概要：音楽が子どもたちの成長の糧になるにはどうしたら良いか。単に聴くだけではなく、「見ること」「聴くこと」「触れること」の統合を試み、ジブリやディズニーの定番だけでなく、今回使用したピアノ、バイオリン、歌、パーカッションの組み合わせを考えて曲の編曲を依頼。親子で楽しめる演奏会を目指した。
増田さんからの声：子どもたちは静かな曲と愉快な曲などをしっかり聴き分けて反応してくれていました。



3 歳から大人まで楽しめる！クリスマスコンサート VOL.2

助成先：Chamber Music Atelier KOBE 助成額：20 万円
場所：神戸市中央区文化センター 多目的ルーム（神戸市） 実施日：2023 年 12 月 24 日

活動概要：主催者の代表をつとめるヴィオラ奏者の神原玲奈は、スイスで音楽を学ぶ傍ら音楽教育でも研鑽を積む。この企画では前半は「水」を、後半はくるみわり人形をテーマにクリスマスらしい構成としたほか、司会台本や会場配置にも工夫を凝らすなど、子どもの視点を徹底的に追求した質の高い演奏会となった。
神原さんからの声：子ども時代にこんな演奏会に出会えたら！企画の最中はまさに宝物のような時間でした。



トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金助成 プログラム 2（1 件 150 万円）

若いクラシック音楽の演奏者を対象に、室内楽の技量や理解向上を国際的な高い水準で目指すマスタークラスなどの事業を助成します。

Reise String Laboratory Vol.2

助成先：一般社団法人 Reise 助成額：150 万円
場所：今福音楽堂ほか（大阪市） 実施日：2024 年 3 月 4 日～11 日

活動概要：プロの演奏家が室内楽を学べる機会は実は少ない。若手弦楽器奏者たちを対象に高水準の室内楽マスタークラスを開催し、関西のクラシック音楽の底上げを図ろうと、昨年に引き続き、小栗まち絵、梁美沙、牧野葵美、門脇大樹ら世界で活躍する音楽家が集まり Reise String Laboratory Vol.2 が行われた。合宿、公開リハをへて、最終日に成果発表のコンサートを開催。その圧倒的な演奏に活動の成果が如実に現れていた。
主催者からの声：助成金の支援によって、合宿形式による濃密なリハーサルを行うことができました。



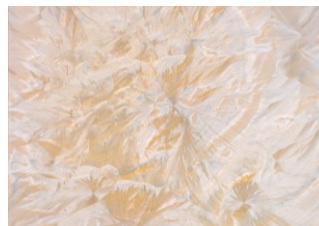
サポーターズクラブの会費や自動販売機からの寄付など、特に使い途の指定のない寄付から支援

湯川 洋康 (美術)

助成額：30 万円 主な活動：エッチングアクリルと結晶作品にある身体性の考察 ～作為と無為について～
場所：Yukawa-Nakayasu スタジオ、イチノジュウニのヨン（大阪市）実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

活動概要：アートユニット Yukawa-Nakayasu として活動する現代美術アーティストの湯川洋康。ガラス面に有機物の溶液を薄く塗布し、空気中の水分と結びついて生じる結晶の成長が淡い濃淡となって画面に広がる独自の 방법으로平面作品を制作。2024 年の 1 月～2 月に大阪市内で展示を行った。作為と無作為の考察と研究から生み出されたそれらの作品は、自然に表現の一部を委ねることで生まれる美しさを伝えるものとなった。

湯川さんからの声：結晶化現象を扱った新たな技法と向き合う、膨大な試行の機会を与えていただきました。

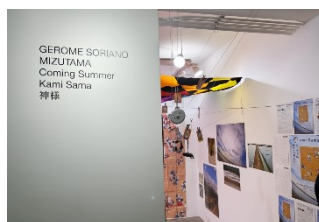


FIGYA (美術)

助成額：30 万円 主な活動：FIGYA 10th anniversary
場所：FIGYA（大阪市）実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

活動概要：大阪の此花で 2013 年から個人が運営するアーティストランスペース FIGYA。公的な枠に頼らず東南アジアのアート状況と直接交流を図るなど様々な先駆的な活動を行ってきた。その 10 周年を迎え「10th anniversary」プログラムを展開。此花から出発しヴェネチアビエンナーレの日本代表となった下道基之の個展や、フィリピンのアーティスト、ジェローム・ソリアーノの展覧会など意欲的な活動を行った。

主催者からの声：以前より気になっていたが初めて来ましたという方が、ここ 10 年間で 1 番多かったです。



黒田 大スケ (美術)

助成額：30 万円 主な活動：芦屋市美術館「art resonance vol.01 時代の解凍」展に参加など
場所：芦屋市美術館（芦屋市）実施期間：2023 年 10 月 28 日～2024 年 2 月 4 日

活動概要：黒田は、彫刻家として、彫刻を形づくる社会的な意味を解体し、シニカルな映像パフォーマンスに還元する。今回芦屋市美術館の呼びかけで同館のコレクションに依拠した作品の依頼を受け、田中敦子の制作をサポートした電気屋、堀内正和、柳原義達、ブルデルの 4 名が戦争について語るその「一人語り」を黒田自身が演じる映像作品を制作。収蔵品と美術館の暗黙の関係性を浮き彫りにする作品となった。

黒田さんからの声：今後新しいことにも果敢に挑戦し、魅力的な作品を作っていきたいと思います。

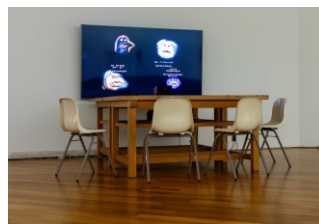


Photo: 飯川雄大

橋爪 皓佐 (音楽)

助成額：30 万円 主な活動：個展プロジェクト「微睡む滞留」にむけた音源の制作など
場所：Kumagusuku（京都市）実施期間：2023 年 9 月～2024 年 3 月

活動概要：音楽家としてクラシックギター奏者・作曲家に留まらず、音楽／音というメディアの拡張に向けた様々な活動を展開する。音楽集団口ゼッタを主宰し国際作曲公募を定期開催するほか、近年は現代美術の領域へと幅を広げつつある。初の現代美術のスペースでの個展を控え、そのための音源制作を行った。展示は、ラジオやテレビ、冊子、植物などを用い、独自の感覚で芸術的な様相を日常へと差し込む方法を模索した。

橋爪さんからの声：展覧会は年度を超えた開催でしたが、助成金で音源の制作などの準備が行えました。



immeasurable (音楽)

助成額：30 万円 主な活動：聴くことのアレゴリー
場所：listude（奈良市）実施日：2023 年 5 月 20 日

活動概要：サブスクリプションで音楽が受容(需要)されることになった現在において、音楽における物理的なメディアの可能性を再考することを活動の主題の 1 つとしている immeasurable。初のイベントでは、『聴くこと』に関するフィールドレコーディング実践者とスピーカー設計者らの対談、今日見かけなくなった『名曲喫茶』スタイルでの音楽を楽しむ方、場所固有の音響特性を活かしたサウンド・パフォーマンスの公開録音などを行った。

主催者からの声：ノンアカデミックで非商業的な実験音楽の実践にご支援を頂き、活動の励みとなりました。



富田 一樹 (音楽)

助成額：30 万円 主な活動：富田一樹パイプオルガン・レクチャーコンサート
場所：宝塚ベガホール（宝塚市）実施日：2024 年 1 月 6 日

活動概要：2016 年ライブツィヒ第 20 回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第 1 位となり、日本のパイプオルガン奏者の第一人者として知られる。パイプオルガンの普及活動にも積極的に関わり、宝塚ベガホールでパイプオルガンの構造を詳細に説明しながら、オルガン曲を演奏するレクチャーコンサートを自ら企画し開催。知られざるパイプオルガンの構造とその音色の魅力が存分に伝わる演奏会となった。

富田さんからの声：この企画はご好評をいただき、これからもぜひ続けていきたいと思っています。



努力クラブ（舞台芸術）

助成額：20 万円 主な活動：努力クラブ第 17 回公演「ゲームコーナー」の上演など
場所：In→dependent theatre 1st ほか（大阪市） 実施日：2023 年 9 月 15 日～17 日ほか

活動概要：私小説的な演劇を目指し徹底した「私的さ」と「リアリティ」の追及を試み、世代的に近い人々の「時代の空気」を取り込んだ作品づくりを行う。新作「ゲームコーナー」は、ゲームに夢中の恋人に愛想をつかし、通りすがりの内気な男子の家に押しかけ性的な関係を結ぶ女子を描く。舞台はほぼ実時間で進み、言葉の選択、会話の間の、時間の流れに際立ったリアリティが感じられ、劇団の存在を印象づける作品となった。
劇団からの声：じっくり創作に向き合う余裕を持つことで、これまで培ってきた創作の「深化」が図れました。



劇団不労社（舞台芸術）

助成額：35 万円 主な活動：『悪態 2307』金沢・大阪ツアー公演、『MUMBLE -モグモグ・モゴモゴ-』
場所：フジハビル（大阪市）、ロームシアター京都（京都市）など
実施日：2023 年 7 月 21 日～23 日（大阪）、2023 年 12 月 14 日～17 日（京都）

活動概要：2015 年に代表の西田悠哉が大阪大学在学時に旗揚げ。演劇の制作と上演を通じて、柔軟な視点の獲得を目指し、現実と虚構の境界を行き来する演劇を試みる。金沢と大阪で上演した「悪態」は小規模な実験的な枠組みで行う Flow シリーズの公演。「MUMBLE」は、近年劇団が追及してきた「集団の暴力性」というテーマの集大成的な作品となり、劇団の最高入場者数を記録したほか、第 2 回関西えんげき大賞を受賞した。
劇団からの声：「MUMBLE」は高い評価をいただき、劇団にとって重要な作品となりました。



Photo: 肖藝凡

HIxTO（舞台芸術）

助成額：35 万円 主な活動：舞台公演「n i g h t - 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より」
場所：西宮市立市民会館（西宮市） 実施日：2023 年 8 月 19 日～20 日

活動概要：演出家でダンサーの庄波希が 2019 年に立ち上げたパフォーマンス集団 HIxTO（ヒクト）。コンテンツボラードダンスを中心に「身体から社会をデザインする」をコンセプトに SONY などの企業ともコラボするなど多方面で注目を集める。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をダンスパフォーマンスによる群像劇として翻案し上演。躍動感あふれる身体の動きによって自由で開放的な舞台となった。
主催者からの声：予想を上回る多くの方々にご覧になっていただき、多くの力をいただきました。



落語彩々（伝統芸能）

助成額：30 万円 主な活動：「かつらふくまるとラクゴニンジャの夏まつり」「かつらふくまるの子どもだけ寄席」
場所：大阪市港区民センターホール（夏まつり）、天満天神繁昌亭（子どもだけ寄席）（大阪市）
実施日：2023 年 8 月 18 日（夏まつり）、12 月 25 日・26 日（子どもだけ寄席）

活動概要：落語彩々を主宰する桂福丸は、灘中高、京大卒という異色の経歴の持ち主。小学生を対象に「ラクゴニンジャの夏まつり」と「子どもだけ寄席」を継続して行っている。大人が上から教えるのではなく、子どもの自主性を大切に、子どもの目線でラクゴニンジャがお話をし、寄席には子どもしか入れない設定とする。落語が伝える伝統的な言葉や知恵が、そうして子どもたちに自然に受け入れられていく手腕は見事である。
福丸さんからの声：繁昌亭大賞奨励賞の受賞や NHK でも取材いただくなど、大きな励みとなりました。

